

## 県南産業技術専門学校 募集案内

# 介護職員初任者研修・福祉用具専門相談員科(4月コース)

県立県南産業技術専門学校では、再就職を促進するために、ハローワークに求職登録をされている方を対象に、職業訓練を実施いたします。

1. 受講対象者 公共職業安定所長の受講指示、受講推薦、支援指示が受けられる方。
2. 定員 20名(一般離転職者)
3. 訓練期間 3か月 平成30年4月4日(水)～平成30年6月29日(金)  
 訓練時間 午前8時40分から午後4時10分まで 6時間  
 休日 土・日・祝日及び校長が定める日とする。  
 \*訓練時間については変更する場合があります。
4. 訓練実施場所 HSC介護福祉専門学校  
 足利市大久保町733-2 東足利自動車教習所内(無料駐車場有)
5. 訓練内容 裏面、訓練カリキュラムをご覧ください。
6. 受講料他 受講料は無料です。ただし、講習用テキスト代(約10,000円)が必要です。  
訓練生総合保険料(3,000円+振込手数料)・消耗品・エプロン代(3,000円)・健康診断料・補講料等に係る経費は受講者は受講者の負担となります。
7. 募集期間 平成30年2月5日(月)～平成30年3月2日(金)
8. 選考日時 平成30年3月15日(木) 受付は午前9時00分から午前9時30分。  
 選考は午前9時30分から実施いたします。
9. 選考会場 県立県南産業技術専門学校 足利市多田木町76
10. 選考方法 提出書類・適性試験(30分50問)・面接試験の結果により総合的に選考します。
11. その他

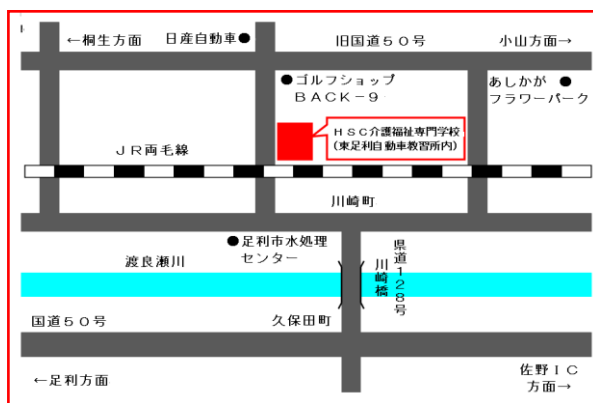
※平成30年度国及び栃木県の事業計画により、訓練の中止又は変更を行うことがあります。

- ① 指定の入校願書及び履歴書に御記入の上、住所を管轄する公共職業安定所に申込をしてください。
- ② 選考には、筆記用具、雇用保険受給資格者証(雇用保険受給者)を持参してください。  
辞退する場合は電話連絡をしてください。
- ③ 応募者が半数に満たない場合は、訓練を中止する場合があります。あらかじめ御承願います。



(選考会場) 栃木県立県南産業技術専門学校

TEL: 0284-91-0803



(訓練実施場所) HSC介護福祉専門学校

TEL: 0284-64-7076

## 委託訓練カリキュラム

実施機関名 HSC介護福祉専門学校

訓練科名	区分 (県南校)	訓練科名 介護職員初任者研修・福祉用具専門相談員科 (4月コース)	訓練対象者	介護職未経験者 介護職経験有りの無資格者のレベルアップ等	
訓練期間	平成30年4月～平成30年6月 (3か月)		訓練終了後に 想定される就職先	介護職員(福祉施設) 社会福祉施設介護職員	
訓練目標	これから介護職員として介護サービスに従事しようとする者を対象とした、基礎的な職業教育として、介護分野の基礎知識と技能・技術を習得し、「介護職員初任者研修」・「福祉用具専門相談員」の資格取得を行い介護分野への就職に結びつける。				
訓練の内容	科 目		科 目 の 内 容		訓練時間
	学 科	①職務の理解 ②介護における尊厳の保持・自立支援 ③介護の基本 ④介護・福祉サービスの理解と医療との連携 ⑤介護におけるコミュニケーション技術 ⑥老化の理解 ⑦認知症の理解 ⑧障害の理解 ⑨こころとからだのしくみと生活支援技術(講義) ⑩振り返り 福①福祉用具と福祉用具専門相談員の役割 福②介護保険制度等に関する基礎知識 福③高齢者と介護・医療に関する基礎知識 福④個別の福祉用具に関する知識・技術 福⑤福祉用具に係るサービスの仕組みと利用の支援に関する知識 福 テスト ⑪、⑫、⑬その他 ⑭、⑮、⑯、⑰、⑱社会 ⑲テスト ⑳安全衛生			
	実 技	⑨こころとからだのしくみと生活支援技術(実技演習・実技実習) 福⑥福祉用具の利用の支援に関する総合演習 ㉑レクリエーション演習	①多様なサービスの理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解 ②人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護 ③介護職の役割、専門性と多職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全 ④介護保険制度、医療との連携とリハビリテーション、障害者総合支援制度およびその他の制度 ⑤介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション 老化に伴うこころとからだの変化と日常、高齢者と健康 ⑦認知症を取り巻く状況、医療的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活、家族への支援 ⑧障害の基礎理解、障害の医療的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かわり支援等基礎的知識、家族の心理、かわり支援の理解 ⑨介護の基本的な考え方、介護に関するこころのしくみの基礎的理解、介護に関するからだのしくみの基礎的理解、生活と家事、快適な居住環境と介護、睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護、死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑩振り返り、就業への備えと研修終了後における継続的な研修 福①福祉用具の役割、福祉用具専門相談員の役割と職業倫理 福②介護保険制度等の考え方と仕組み、介護サービスにおける視点 福③からだところの理解、リハビリテーション、高齢者の日常生活の理解、介護技術、住環境と住宅改善 福④福祉用具の特徴、福祉用具の活用 福⑤福祉用具の供給の仕組み、福祉用具貸与計画等の意義と活用 福 修了テスト ⑪オリエンテーション、⑫ガイダンス、⑬実習前オリエンテーション ⑭キャリアコンサルティング、⑮ビジネスマナー、⑯就職支援 ⑰ジョブカード作成指導、⑱職場見学 ⑲修了テスト ⑳職場での安全衛生を学ぶ		9時間 12時間 6時間 9時間 6時間 6時間 6時間 6時間 28時間 5時間 2時間 4時間 16時間 17時間 7時間 1時間 10時間 51時間 1時間 3時間 120時間 内訳 実技演習 72時間 実技実習 48時間 5時間 6時間
訓練時間総合計 336時間(学科205時間、実技131時間)					
機器設備	ビデオプロジェクター1台、ビデオプロジェクタースクリーン1面、映像プレイヤー1台				